

---

# 東方月従者

狗怨

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方月従者

### 【Nコード】

N2516Z

### 【作者名】

狗怨

### 【あらすじ】

幻想郷とやばれるこの地には、迷いの竹林と呼ばれる竹林があった。その竹林に迷い込んでしまうと中々抜け出すことはできない。故に『迷いの竹林』。そんな竹林の奥には『永遠亭』という日本屋敷があった。これは 完全有欠 と呼ばれる青年と、 月の姫 の物語である。

## 第一話

### 一日の始まり(前書き)

この小説は「主人公最強」「キャラ崩壊」「ハーレム」の要素を含みます。これらの上に嫌悪感を抱く方は「戻る」「ボタンを押してください。それでもいいとゆう心の広い方は読んでいってください。うれしいです。

## 第一話

### 一日の始まり

「姫、起きていますか？」

黒い髪の青年が襖越しに問いかける

「・・・・・・・・」

返答はない。青年はもう一度問いかける

「姫、起きていますか？」

「・・・・・・・・」

また返答はない。青年はまだ寝ていると判断し、ゆっくりと襖をあける。そこには穏やかな表情で寝ている美しい少女がいた

「姫、起きてください。朝ですよ。」

「ん？・・・・・・・・ふわぁ・・・もう朝なの？」

少女は不満げな表情で、小さく欠伸をしながら青年に問いかける

「眠そうですね。いつまで起きてらっしゃったんですか？」

「ついさっきまでよ。新しいスペルカードを考えていたんだけど、中々良いモノが思いつかなくてね。やっと思いついたのがついさっきなのよ。おかげ寝不足よ。」

ついさつき寝たと言っつのは本当のようだ。その証拠に目の下に薄い隈ができている。

「姫、創作意欲があるのは良いのですが・・・その所為で病気などに罹ってしまったては元も子ありませんよ」

「分かった分かった。次からは気を付けるわ」

「それでは姫、朝食の用意ができていますので、準備ができたら居間に来てくださいね。」

そっついうと青年は部屋から出て行った。今日も青年

如月命きつひのみことの

一日が始まった。

## 第一話

### 一日の始まり（後書き）

よければ感想と評価をお願いします！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2516z/>

---

東方月従者

2011年12月8日23時57分発行